

整形外科

当該診療科の特長	当診療科は地域医療の中核を担う医療施設の整形外科として、頭部および内臓を除くほとんどの部位の外傷性疾患に対応している。また地域の病院や診療所と連携し、変形性関節症やリウマチなど慢性疾患の手術症例の治療も行っている。特に下肢の関節外科に強く、最小侵襲手術手技による人工股関節置換術や人工膝関節置換術に積極的に取り組んでいる。また京都府立医科大学整形外科学教室と連携して、学会活動にも積極的に取り組んでいる。	
プログラムの特長	<ul style="list-style-type: none"> ① 四肢外傷治療の基本手技 ② 四肢変性疾患の治療 ③ 脊椎疾患の診断と治療 ④ 学会発表 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的骨折治療法を身につける 整復操作と保存治療、手術治療（骨接合術）、高齢者大腿骨近位部骨折の周術期管理と医療連携、骨粗鬆症の治療、開放骨折の初期治療 ② 変形性関節症の治療法を学ぶ 保存治療（薬物療法、リハビリテーション、関節内注射の清潔手技）、THA・TKAの術前計画と手術助手 ③ 脊椎の急性・慢性疾患の診断と治療を学ぶ 理学所見、画像診断と手術適応 ④ プレゼンテーション技術を学ぶ 学会、研究会での発表 	
研修期間	3年間	
取得可能な資格等	学会名	取得可能な資格
	日本整形外科学会	日本整形外科学会専門医
指導体制	日本整形外科学会認定専門医 4名 日本リウマチ学会専門医 1名 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医 1名	
その他	当院整形外科では、開講 60 周年を過ぎ、2012 年の日本整形外科学会学術総会開催をはじめとして数々の学会開催主催を行っている京都府立医科大学整形外科の関連施設として大学病院でのハイレベルな卒後研修を強く推奨している。よって同教室への入局が必要である。また神戸という地の利を活かして他大学・施設主催の研究会への参加機会も提供している。	

